

令和6年度 玉名女子高等学校 学校関係者評価報告

学校関係者評価委員会

実施日 令和7年2月26日(水)

出席者 法人評議員と保護者代表PTA役員

- 令和6年度参観行事：包丁授与式・体育祭・創立100周年記念式典・文化祭・戴帽式・学校公開日等
- 自己評価の分析について 資料の配布と説明(教頭)
- 感想・意見や提案(評価者)

1. 「学校評価アンケートについて」

学校評価について

アンケート結果について、全体的には評価できる内容だと感じている。

各項目、厳しく自己評価、分析をしておられ、真摯に取り組まれていると感じた。

継続して続けられることに敬意を感じる。結果、教職員、生徒共に真剣に取り組み、また、対処されることが大切なことと思う。

評価総括は「現状」「課題」「具体策」の表記をお願いしたい。

理事、評議員の授業現場視察を充実させてほしい。

重点目標(1) 安心・安全に過ごせる学校づくり

生徒との関わり方、接し方も十分に距離感を保ちつつ、熱心に取り組まれていると思う。先生方の伝え方や生徒の受け取り方に大きな差があり、もう一步踏み込んだ関係性の構築ができれば、もっと素晴らしい学校になると考える。心の悩みへの取り組みで、教師の認識と生徒・保護者の求める対応のずれを埋める必要があるというところは、難しいが大切ではないか。スクールカウンセラーの先生に定期的に来ていただくなど、悩んでいる生徒が、まず話しやすい仕組みを作ることが一番大切なことだと思う。

いじめに関しては、生徒の本心を知る工夫が必要と考える。対面以外にもネット上での心ない言葉などあると聞く。特に、人とつながりたい時期をコロナ禍で過ごした生徒さんは戸惑いもあるかと感じる。

ホームルームでの工夫だけでなく、問題が起きたときに相談できる信頼感がつくれるといい。

いじめ防止のためにも人権教育をもっと推進し、情報を共有し、学年、クラスを問わず学校全体で見守られていると生徒さんが感じられるようになればいいと思う。

学校と家庭の連携についてはA評価だが、教師の評価だけなので、保護者の意見も聞く必要がある。

重点目標(2) 授業改善、基礎学力の充実及び専門性向上のための指導

教育活動、授業のわかりやすさへの工夫などは評価が高くなっており、さらに工夫が必要だが高い評価を得ていると考える。

「基礎学力充実のための取り組み」について、教師の肯定的評価が14ポイント低下した原因は何か。今後の改善のためにも深掘した検討が必要ではないか。

学校は子供たちにとって「生きる力」としての学力を向上させていくところである。「生徒が意欲的に授業に取り組める環境作りができていていると思う」について「どちらかといえばそう思う」の割合は多いが、「そう思う」の割合はわずかである。生徒が意欲的(主体的)になって自分の学習に取り組むことは、最終的には生徒の

学力向上にもつながる。各科目でそれぞれの専門性があり、この項目について認識を共有する場を設定することは難しいと思うが、先生たちが、この項目について各々考えている具体の姿を共有し、玉名女子高校の教員集団として、授業の基本的な点について共通認識をもつことは大事なのではないかなと思う。それを基に、各々の先生方がご自分の指導法について研究をされたらどうか。

専門的な学習内容の充実、資格試験に対して積極的な指導を重視、本校の強みを強化、抜本的な改革が必要。

- ・100%を目指す（そう思う、どちらかといえばそう思う）
- ・資格試験合格率の開示、数値化提示等
- ・教職員の意識向上、100%を目指す（そう思う、どちらかといえばそう思う）
- ・アーカイブを利用した授業のスリム化、効率化の導入等の必要性を検討

専門教科の学習に対する満足度も高いので、将来の進路への生かし方等を生徒さんにしっかり考えさせていけば、さらに意欲も高まるのではないかな。

基礎学力については、入学前の学習の仕方が大きく影響すると思う。しかし、「専門性習得のための取り組み」では評価がAであるので先生方のご指導かと読み取れた。加えて「基本的生活習慣の確立」に対して自己評価が高いことも生徒さんの努力と思う。

重点目標（３）基本的生活習慣の確立を図るための取り組み（見えない学力の充実）

基本的習慣の確立、文武両道はできていると思う。部活動も活発でよい。

重点目標（４）文武両道

文武両道はできていると思う。部活動も活発でよい。部活動への期待や満足度は高いと感じる。他校にない強みとしてアピールを強化されるとよいと感じる。

好きな部活動を精一杯、悔いのないようにやりぬき、学業においては専門の資格を取得し、卒業する玉名女子高校の生徒さんはとても幸せだと思う。この両立はなかなかできそうでできない。そのために頑張る先生方も素晴らしいと思う。その姿を地域の人は身近に見ているので、玉名女子高校を地域の誇りと思っている。

コロナ禍以前の形で学校行事が行えるようになったことで、学校に活気が取り戻せて良かった。

進路指導室利用の評価は低いが、評価としては難しいところであろう。敷居が高いのはどこの学校でも一緒のようだ。インターネット環境はどのようになっているのか気になる。デジタルコンテンツになら興味を持つという生徒もいるのではないかな。

重点目標（５）人権教育の推進

引き続き人権教育の推進をお願いしたい。

読書習慣の活発化については評価「C」であるが、「ネット上で著作物を読むこともできる」としてあるとおり、従来の姿勢を生徒に求めることも厳しい状況になっていると感じる。

重点目標（６）生徒と向き合う時間の確保

働き方改革については、「時間」にばかりとらわれている風潮がないか。職員一人ひとりの知恵や職員同士のコミュニケーションがとれていないと「早く帰ろう」ということばかりに意識が向いてしまい、何のための改革なのかばやけてしまう。